

## 取り組み方針にかかる主な課題と対応状況について

取り組み方針	課題	R2年度 (対応状況)	R3年度 (現状・課題・今後の対応方針 など)
⑦ より身近な地域の相談先の充実	民生委員・児童委員の充足率の向上	<p>① R2年度の取り組み状況 区政連絡会や町会、関係部署等と連携し、候補者選定と委嘱につながるよう積極的に働きかけた。</p> <p>② 欠員状況 10月1日時点で欠員30名。引続き欠員補充に向け、働きかけていく必要がある。</p>	<p>① 充足率・欠員状況 ・民生委員・児童委員の定数に対する充足率は90.3%（令和3年8月末現在）。 ・欠員状況は現在25名（令和3年8月末現在）。</p> <p>② 現状 ・民生委員・児童委員は、相談・支援活動、地域における連携などをはじめ、様々な活動や役割を担っている。 ・近年、地域の多くの課題に対応するため職務内容は多様化・複雑化・専門化し、民生委員・児童委員の負担感につながり、さらに、なり手不足問題を生んでいる。</p> <p>③ 今後の方向性 ・少子高齢社会を迎え、核家族化が急速に進展し、家族や地域の繋がりが希薄化する中で、民生委員・児童委員の役割が益々重要性を増している。 ・今後、活動の充実・活性化を図りながら負担の軽減策を検討し、同時に民生委員・児童委員の適任者の確保に努めなければならない。</p>

取り組み方針	課題	R2年度 (対応状況)	R3年度 (現状・課題・今後の対応方針 など)
⑧ 包括的な相談支援体制の確立に向けた分野横断・連携の強化	福祉包括化推進会議の開催	<p><b>①福祉包括化推進部会の定期開催</b> 昨年度に引き続き、定期的に福祉包括化推進部会を開催し、課題や事例の共有を図ることにより、各課の業務内容の共有と支援の質向上に取り組んでいる。</p> <p><b>②福祉包括化推進員への兼務発令</b> 令和2年度より、福祉包括化推進員（区職員）に対し、兼務発令を行うことにより、位置づけを明確にした。</p>	<p><b>①課題</b> ・体制の構築はできているが、課題解決の場というよりは、情報共有の場となってしまう。 ・関係課で課題の共有を行った上で、その課題に対し、どのように解決を図るのか、そこまで踏み込んだ議論ができるよう、体制を整えていく必要がある。 ・現状、事務局の個人の資質（実務経験・マネジメント能力）により運営が成り立っているため、誰が事務局になっても、運営できるようなしくみづくりを進めていくことが必要である。</p> <p><b>②重層的支援体制整備事業の検討</b> 現在、改正社会福祉法に位置づけられた「重層的支援体制整備事業」に関して、これまでの豊島区の取り組みを踏まえ、検討を行っている。</p> <p><b>③今後の方向性</b> 今後は、地域のNPOや企業とも連携しながら、地域福祉のイメージを共有する場を定期的に行うことも検討している。</p>
⑩ 地域における見守りの推進	<p>要支援者地域共有名簿の活用と見守り</p> <p>個人情報共有の仕組みの整備</p>	<p><b>①名簿の更新</b> 年度内に名簿を更新した。</p> <p>未着手</p>	<p><b>①名簿の活用</b> ・令和3年7月に地域へ名簿を配付した。 ※提供先：町会、消防・警察・消防団、民生委員、社会福祉協議会 ・今後、活用方法や安否確認（高齢者・障害者）等について、検討を行う。</p> <p><b>②福祉と防災の連携</b> 今後は福祉部門と防災部門が連携をして進めていく。</p> <p><b>①個人情報共有の仕組みに関する検討</b> 福祉部門と防災部門が連携して検討している。 ※②もご参照ください。</p>

取り組み方針	課題	R2年度 (対応状況)	R3年度 (現状・課題・今後の対応方針 など)
⑫ 地域生活を支える切れ目のない支援	終活支援・終末期ケアへの検討	<b>①終活サポート事業の開始</b> 終活に関する相談窓口を設置し、区内関係事業者等との連携により一人暮らし高齢者等の「終活」を支援し、老後の不安を軽減する。  名称…豊島区終活あんしんセンター 委託先…社会福祉法人豊島区民社会福祉協議会	<b>①課題</b> ・事業周知や関係事業者との協議・協力体制の構築等が課題である。 ・相談からニーズを把握しながら、事業展開を検討していく必要がある。  <b>②今後の方向</b> 単身者の多い当区の現状を踏まえ、終活に関する情報登録事業を令和4年度からの実施に向け検討を進めていく。
⑬ 生活困窮者等の自立支援	ひきこもりへの対応	<b>①状況調査の実施</b> ・福祉部門や保健所などの関係課及び関係団体を通じ、過去3年間に区の窓口に相談に来た225件の状況調査を実施した。 ・その結果、当事者の約半数が40代から50代であること、最初につながった相談者の4割が家族であることなどが明らかになり、社会問題となっている「8050問題」が、本区にも差し迫っていると実感する結果となった。	<b>◎ひきこもり支援への取り組み</b> 1 相談体制 (1) 福祉包括化推進員の体制強化 令和3年4月より、住宅課と教育センターを新たに追加 (2) 支援員の育成 福祉包括化推進員及び関係課職員に対し、定期的な研修会を開催 (3) ひきこもり相談窓口の開設 令和3年7月1日  2. ひきこもり支援協議会の設置 第1回協議会の開催（令和3年7月15日）  3. 周知活動 ひきこもり専用ホームページ（令和3年8月1日開設）、ツイッター、ブログ（準備が整い次第）、広報としま、メディア
⑭ 災害時要援護者等への支援体制の整備	災害時要援護者への支援体制等の整備	<b>①庁内WGの設置</b> 庁内ワーキンググループを設置し検討に着手した。	<b>◎今後の進め方（案）</b> ・「保健福祉部要援護者対策会議（親会議）」 …概ね2か月に1回開催 ・「検討チーム」 …各チームの検討課題に応じて適宜実施。検討状況を親会議に報告  ※検討課題（案）：組織、名簿、安否確認（高齢者・障害者）、福祉救援センター
	福祉救援センター（福祉避難所）の整備	<b>①無線通信訓練の実施</b> 特別養護老人ホーム10施設を対象に無線通信訓練を実施した。	

取り組み方針	課題	R2年度 (対応状況)	R3年度 (現状・課題・今後の対応方針 など)
②⑥ 情報アクセシビリティ	バリアフリーマップの作成	未着手	<p>①<b>現状</b> 平成22年3月に発行（冊子のほか、区HPで公開）。</p> <p>②<b>情報提供の方法（方向性）</b> 今後は、利用者にとっての利便性（使いやすさ、分かりやすさ）に配慮しながら、webシステムにより、スマートフォン・タブレット等で見られるようにする。</p>
	移動支援		<p>◎<b>視覚障害者の移動支援の取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊島区は、視覚障害のある方の利便性向上を目的として、全国の自治体で初となる専用アプリ「shikAI（読み：シカイ）」による移動ルートの音声案内システムの運用を4月1日より開始した。</li> <li>・「shikAI」とは、iPhoneの視覚障害者専用のナビゲーションアプリで、カメラで点字（警告）ブロックに設置したQRコードを読み取ると、現地から目的地までルートを導き出し、音声で進む方向や距離を伝えることで、視覚障害のある方が安心して目的地までたどりつけるようサポートしてくれるシステムである。</li> <li>・東京メトロでは、令和3年1月より本格的に導入しており、東池袋駅を含め、9駅での運用が予定されている。</li> <li>・東池袋駅は、区役所と地下道で接続しており、駅から公共機関への案内がスムーズに行うことが可能となることから、このたび、民間のマンション管理組合の協力のもと、東京メトロと連携し、「shikAI」システムを区役所の入口まで導入することとなった。今後、対象エリアの拡充も予定されている。</li> </ul>
	コロナ禍における情報アクセシビリティの強化	<p>①<b>現状</b> 手話の普及・啓発とともに、聴覚障害・視覚障害への支援のほか、失語症の人のコミュニケーション支援事業など、障害特性に応じた多様なコミュニケーション手段を確保している。</p> <p>②<b>新たな取り組み</b> 障害者サポート講座や手話ソングなど、区公式YouTubeにて配信している。</p>	<p>①<b>コロナ禍における情報提供のあり方検討</b> 今後は、対面だけではなく、オンラインを活用するなど、誰もが必要な情報にたどり着け、利用できる方策を検討する必要がある。</p>

## コミュニケーションやUDトークをご存知ですか？

豊島区では、平成31年4月1日に、手話が言語であることへの理解を広め、障害のある人もない人もお互いに理解しあうための多様な意思疎通手段の利用を推進するため、平成31年に条例を策定しました。条例の趣旨を踏まえ、障害福祉課では、共に支え合い、安心して暮らすことのできる社会を目指して、音のバリアフリー、聴こえ改善・支援に取り組んでいます。この取り組みの一つとして、コミュニケーションとUDトークを導入しましたのでご紹介します。

### コミュニケーションとは

- マイクを使って語りかけると、声が聴き取りやすくなるスピーカーです。
- 窓口でのパネル越しやマスクをしている際も、伝わりやすいはっきりとした音になっています。



### UDトークとは

- 音声認識によって、話し言葉が文字に変換され話しの内容が分かる、会話が見えるアプリです。
- 会話が記録できるほか、外国語の翻訳や通訳にも活用できます。



### 設置場所

- 障害福祉課窓口（コミュニケーション、UDトーク）
- 心身障害者福祉センター（コミュニケーション）
- 東部障害支援センター（コミュニケーション、UDトーク）
- 西部障害支援センター（コミュニケーション、UDトーク）

窓口にてご利用できますので、お気軽にお声掛けください。